



# 麻布大学 参加型臨床実習にご協力をお願いします

私たち獣医系大学教員は最善の獣医療を提供すると同時に、優れた次世代の獣医師を育成する責務があります。そのため2017年より国内すべての獣医系の大学附属動物病院では獣医学生（スチューデント・ドクター）の総合参加型臨床実習が行われています。今回、診療・検査・手術・入院等において、麻布大学のスチューデント・ドクターが大切なご家族の診療を担当する獣医療チームに参加することへのご協力とご理解をお願いします。

## 1. 参加型臨床実習とは？

参加型臨床実習は、スチューデント・ドクターが診療チームの一員として加わり、獣医療の実際を学んでいくものです。スチューデント・ドクターはこの実習を通して獣医師としての態度・技能を学び、その能力は卒業後の臨床研修に引き継がれます。この実習は医学・薬学の世界でも広く実施されています。

## 2. スチューデント・ドクターの知識や技術は大丈夫なのでしょうか？

参加型臨床実習を行うスチューデント・ドクターは、獣医系大学間獣医学教育支援機構が実施した全国統一の能力判定試験（知識・実技を含む）および学内試験に合格し、一定の能力を有する学生として公認されています。臨床実習を始めるまでの必要な単位を取得したうえで試験をクリアした学生しか参加できない仕組みになっており、管轄省庁である農林水産省では獣医師法第17条の範囲内で正当であるとされています。

（日本獣医師会雑誌 2010年 63号 591-596. [nichiju.lin.gr.jp/mag/06308/a9.pdf](http://nichiju.lin.gr.jp/mag/06308/a9.pdf)）

## 3. どのようにスチューデント・ドクターは関わるのですか？

問診や検査や治療のご説明などに立ち会います。これらは飼い主様あるいは大切なご家族への思いやりや知識を学ぶ上で不可欠なものです。また、安全とプライバシーに配慮しつつ、スチューデント・ドクターから飼い主様への簡単な予診を行うことがあります。臨床実習でスチューデント・ドクターが検査や治療結果に影響する獣医療行為をすることはありません。ご不明な点は、担当医へお問い合わせください。

## 4. 万が一、事故があった場合には補償はありますか？

スチューデント・ドクターの診療に関連して、動物の健康や飼い主様のプライバシーに何らかの影響を与える事象が発生した場合は、病院長が真摯に責任をもって対応します。

## 5. 参加型臨床実習は断れるのですか？ それで不利になったりしますか？

飼い主様には、実習そのものを拒否する権利があります。また、実習にご同意いただいた後でも、状況に応じて、いつでもスチューデント・ドクターの参加を断ることができます。いずれの場合でも、不利益を被ることはありません。なお、スチューデント・ドクターが関わるために診察や検査に要する時間がより長くかかるということはありません。